

国 語

- ・試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- ・試験時間は50分です。
- ・解答用紙はこの問題冊子の中央にはさんでいます。
- ・試験のはじめに、問題冊子の表紙と解答用紙に受験番号を記入しなさい。
(名前は書いてはいけません)
- ・解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
- ・字数制限のある問いでは、句読点や記号も一字と数えます。
- ・質問などがあれば静かに手を上げて知らせなさい。

受 験 番 号

受 験 番 号			

① 次の――線①～③のカタカナは漢字に、④～⑤の漢字は読みをひらがなに直し書きなさい。

- ① カネン性の薬品である。
- ② 新たな法律をコウフする。
- ③ 友人にハガキを出す。
- ④ 揮発油で汚れを落とす。
- ⑤ 農村部に居住する。

② 次の語句・文法の問題に答えなさい。

問 一次の各文中の□の言葉は、それぞれ後のどこにかかりますか。一つ選び、記号で答えなさい。

- ① 子ヤギが 家の前の広場の草をむしやむしやと食べた。
- ② 雨が横なぐりに 激しく降り、川はあふれそうになつていた。

問二 次の①～③の()にはそれぞれ共通の語が入ります。ふさわしい言葉を、後から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① けりが()
土が()
- ② 馬が()
口に()
- ③ だめを()
横車を()
- あ あう い おく
う おす え つく

③ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

2017年、アメリカの研究者チームが発表したひとつの調査報告が、世界に驚きを与えました。これまでに具体的な数字がつかめなかった①世界のプラスチック生産量とその行方が、初めて明らかになったのです。

いまでこそプラスチックは私たちの暮らしの中に溢れています。本格的に生産されるようになったのは、1950年頃からです。調査によると、1950年には年間約200万トンだった世界のプラスチック生産量は、年々増加し、2015年には4億700万トンにまで膨れ上がっています。このままのペースで増え続けると、2050年には16億トンに迫るとも予測されています。《X》、廃棄されるプラスチックも同様に増え続け、2015年には3億200万トンが廃棄処分されています。

研究者チームはさらに、2015年までの66年間で生産されたプラスチックは、トータルで83億トンと算出。そのうち63億トンがごみとして処分されたと指摘しています。しかも処分されたプラスチックごみのうち、リサイクルされたものはわずかA%にすぎず、12%は焼却、残り79%は埋め立て処分もしくは投棄されたと

いのです。

プラスチックは様々な用途に使われていますが、鉄のように長期間使用されるものではなく、半数が4年以下で捨てられてしまいます。さらに、ライフスタイルの変化によって、使い捨て製品がBしたことが、プラスチックの生産量と廃棄量を共にCことになりました。

このままのペースでいくと、2050年までには120億トンのプラスチックごみが、②埋め立て・投棄という形で自然環境の中に放置されることになる、と報告書は警鐘を鳴らしています。人工的につくり出されたプラスチックは、天然素材と違って土に還らないため、自然環境に及ぼす影響が懸念されています。

(中略)

2019年6月、日本で開催された主要20カ国・地域首脳会議（G20大阪サミット）にて、③海洋プラスチックごみ問題が討議され、2050年までに新たなプラごみ流出ゼロを目指すことが表明されました。

海を汚染するプラスチックごみに、世界の関心が集まるようになったのは、ここ数年のこと。プラスチック製の漁網にからまつてもがき苦しむウミガメ、胃の中から大量のポリ袋が発見されたクジラ、ボトルキャップを

えさと間違えてひなに与える海鳥。衝撃的な事例が生々しい写真や映像と共に次々に報告され、私たちは遠い海洋の現実を知らされることになりました。

これまでも、海岸に大量のプラごみが流れ着き、景観を汚すことが度々問題になってきましたが、④それは氷山の一角にすぎなかつたのです。海岸に流れ着くことなく、海流にのって漂い続けるプラごみのほうがはるかに多く、《Y》時間が経つにつれて劣化し、マイクロプラスチックと呼ばれる小さな粒に姿を変えて、海洋生物に悪影響を及ぼすことがわかってきました。

こうしたプラごみは、北極から南極まで、あらゆる海域で発見されています。なかでも米国カリフォルニア州とハワイに挟まれた一帯は、渦を巻く海流によって大量のプラごみが集まり、「太平洋ごみベルト」とも呼ばれています。

(中略)

海洋ごみの大半は、適切に処分されなかつたプラごみが、陸から海へと流れ出たものです。そのうち約8割が、河川などを通じてアジアの国々から流出しているとされ、早急な対策が求められています。

全世界で海に流れ出るプラごみは、推定年間800万トン。このままいくと、2050年には、プラスチック

が魚の量を上回る、とさえいわれています。先のG20が採択した「2050年までに」という目標設定では遅すぎる、と危惧する声が上がっているのも当然といえるでしょう。

(インフォビジュアル研究所『図解でわかる14歳からのプラスチックと環境問題』より一部改変)

問一 ———線①「世界のプラスチック生産量とその行

方が、初めて明らかになったのです」とありますが、世界のプラスチック生産量のどのようなことが「明らかにになった」のですか。ふさわしくないものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- あ 2015年までに世界で生産されたプラスチックは、トータルで83億トンということ。
- い 2015年までに世界で廃棄されたプラスチックは、トータルで63億トンということ。

- う 世界のプラスチック生産量は、2015年には3億2000万トンになるはずだということ。

- え 世界のプラスチック生産量は、2050年には16億トン近くになる予測であること。

問二 《X》・《Y》に入る言葉としてふさわしいものを、次の中から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- あ さて
- い 一方
- う しかも
- え ところが

問三 Aに入るふさわしい数字を答えなさい。

問四 B・Cに入る言葉の組み合わせとして

ふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- あ Bー激減 Cー引き下げる
- い Bー激増 Cー引き下げる
- う Bー激減 Cー引き上げる
- え Bー激増 Cー引き上げる

問五 ———線②「理め立て・投棄という形で自然環境

の中に放置されることになる」とありますが、プラスチックのどのような性質が自然環境に悪影響を与えてしまうのでしょうか。「く性質」につながるように本文中からぬき出して答えなさい。

問六

——線③「海洋プラスチックごみ問題」とありますが、近年関心を集めるきっかけとなった事例が挙げられています。本文中に挙げられている動物名をすべて答えなさい。

問七

——線④「それ」とありますが、

I 何を指していますか。本文中の言葉を用いて答えなさい。

II 「それ」以上にもっと大きな問題になっているものは何ですか。「〳の問題」につながるように本文中からぬき出して答えなさい。

問八

——線⑤「氷山の一角」の意味を次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

あ せっかく事をなしながらかんじんなところが物足りない。

い 他人のものを利用してでも自分の目的を果たすべきだ。

う 表に見えているのはものごと全体のほんの一部にすぎない。

え 身近なことの方がかえってわかりにくいことが多いものだ。

問九

本文中の筆者の考えにあてはまるものには○を、あてはまらないものには×を書きなさい。

あ 世界のプラスチック生産量と廃棄量は年々増加している。

い プラスチックはリサイクルには適しない素材であるため長期間使用できない。

う 海洋プラスチックごみは海洋生物によって広められていき、国際的な問題となっている。

え 海洋プラスチックごみが大量に集まってくる地域のことを「太平洋ごみベルト」と呼んでいる。

④ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

「波、練習を休んだって？」

いつのまにかお母さんがそばにきていて、耳もど言
った。

① あ、と波は思った。お母さん、やつぱりちゃんときい
ていたんだ。

「どうして？」

「耳が痛いんだよね」美穂みほちゃんが言った。

「耳が？ ほんとう？」

波はだまっていた。

「耳が痛いわけじゃないのね。じゃ、どうして練習休ん
だの？ なにか用事があったの？」

お母さんはやさしい声できいた。

「ハルの散歩」

波は手をバケツから出した。

グラウンドでは、ほかのチームの子たちが試合をはじ
めていた。

「ハルって？」

お母さんは波の顔をのぞきこんだ。 ② お母さんの香水こうすい

のにおいが波をつつんだ。

「高島さんちの犬。高島さんは犬を散歩させられないか

ら」

「だから波が？」

「金曜日だけ。ほかの日は真麻まあちゃんが散歩させてる」

波は、ぬれた手をズボンでふいた。

「そう」

波はうつむいていた。うつむいていても、お母さんが
自分の顔を見つめているのがわかった。

③ 「それは波がしなくちやいけないこと？」

波は首をかしげる。

「でも、波はソフトチームに入ってるからねえ。そうい
うこと、できないよねえ。体はひとつだから ④ 両方はで

きないでしょ。練習を休んじやだめって、監督かんどうさんにも
言われたんじやなかったっけ」

波はうなずく。

「せっかくソフトをはじめたんだもの。休んでちや、う
まくなれないよ。おにいちゃんは、だまって練習を休ん
だりしなかったよ。だからレギュラーになれたの。波も
レギュラーになりたいんじゃないの」

波はお母さんのくつの先を見ていた。川からの風が
そよそよ吹ふいていた。遠くで歓声かんせいがあがった。どっちか
のチームが得点したのだ。

「なりたいたいよねえ。せっかくはじめたんだもの。がんば

つてレギュラーにならなきゃ。それが目標だったよね。うそをついて練習を休むなんて、いいこと？ 正しいこと？」

波は首をふる。

「犬の散歩、高島さんにたのまれたの？」

「真麻ちゃん」

「だれか、ほかの子にたのんでもらったらどう？ きつと犬ずきな子はいると思うけどな」

「うん」

波はくつを見たまま、うなずいた。お母さんにそうしたらと言われたら、「うん」と言ってしまう。ちよつとちがう、という気持ちがおなかのなかで《 X 》するの、ことばになつては出てこない。お母さんの考えとちがうことを言おうとすると、言うまえにことばが《 Y 》としぼんでいく気がする。言いかけても、「どうして、^⑤ そんなことを言いだすの？ そんなこと、どうして考えるの？」ときかされると、すぐに、まちがったことを言つてるような気がしてきて、言うのをやめてしまふ。いいの、いいの、と思ってしまう。それにくらべて、お母さんはいつだって、^⑥ いろんなことばをもっている。「わかっている、波の気持ちはわかっている。いやだなあつて思うことあるよね」とお母さんは言う。そして

「わかっているけど、でもね」とことばはつづく。波をつつみこむように、お母さんは話しかける。いやだなあつて気持ちはだれにでもあるの。だけど、それは弱い気持ちじゃないのかなあ。弱い気持ちにひきずられていたら、どんなこともできなくなっちゃうよ。できない、できないと思つていると、どんどんものごとはマイナス方向にいつてしまうよ。がんばるつてそういうことよ。いやだなあつて思つても、にげないことだよ。がんばつてやれば、きつと力はわいてくるからね。人生にはいろんなことがあるんだから、いやなことにかけてちやだめよ。にげちやだめ。がんばらなきゃ。^⑦ お母さんのことばは波をぐるぐる巻きにする。

いろんなことつてなんだろうと波は思う。お母さんに「人生が」と言われると、山のなかにまよいこんだよな気になる。どつちを見ても《 Z 》背の高い木がはえていて、出口がわからないような、そんな気持ちになる。

「わかつたね。もう練習を休まない。約束ね」とお母さんが言った。

「うん」

波はまたうなずいた。

そのあとの試合では、波たちに出番がまわってくるこ

とはなかった。波たちのチームは里美ちゃんが投げぬいで、出場したハチームのうち三位になった。

(岩瀬成子『そのぬくもりはきえない』より一部改変)
いわせしんご

問一 — 線①「あ、と波は思った。お母さん、やっぱりちゃんときいていたんだ」とありますが、お母さんはどのようなことをきいていたのですか。本文中の言葉を用いて十二字以内で答えなさい。

問二 — 線②「お母さんの香水のにおいが波をつつんだ。」とありますが、この文を同じ意味になるように、「波は」を主語にして書きかえなさい。

問三 — 線③「それ」とありますが、何を指していますか。本文中の言葉を用いて十字以上十五字以内で答えなさい。

問四 — 線④「両方はできないでしょ」とありますが、お母さんはどうして欲しいと思っほていますか。答えなさい。

問五 《X》《Y》《Z》に入る言葉としてふさわしいものを、次の中から一つずつ選び、記号で答えなさい。

あ へなへな い ごろごろ う すらすら
え もやもや お によきによき

問六 — 線⑤「そんなこと」とありますが、どのような内容を指していますか。十三字でさがし、ぬき出して答えなさい。

問七 — 線⑥「いろんなことば」とありますが、ここの「ことば」の内容として、ふさわしくないものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

あ 説得 い 理解 う 無視 え 激励
げきうれい

問八

——線⑦「お母さんのことばは波をぐるぐる巻きにする」とありますが、この時の波はどのような気持ちになっていきますか。ふさわしいものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

あ 自分の意見を言ってしまうと、お母さんとけんかになり、どうすればよいかよく分からなくなってしまうっている。

い 自分の意見を言っても、結局はお母さんの考えを押しつけられてしまい、どうすればよいかよく分からなくなってしまうっている。

う 自分の意見とお母さんの考えが全く一致せず、どうすればうまく歩み寄れるのか、その方法が見つからず悩みこんでしまっている。

え 自分の意見はあるのだがお母さんの考えが全く理解できず、人生の選択の場になってしまい考えあぐねている。